

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-1 生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	社会教育課長 荒木 正秀	電話番号	0852-22-5910
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	生涯学習総合推進事業		
目的	(1) 対象	委員・関係課	
	(2) 意図	生涯学習社会を目指し、社会教育委員の会・生涯学習審議会の開催、生涯学習推進構想の策定など、生涯学習推進の体制を整備する	
事業概要	・社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言してもらうため、社会教育委員の会議を開催する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	多様な生涯学習関連事業の充実度	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	社会教育委員の会議の開催回数	目標値		2.00	2.00	
			実績値	2.00	2.00	2.00	3.00		
			達成率		100.00	100.00	150.00		%
指標名	式・定義	社会教育委員の会議の開催回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00		
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	535	713
うち一般財源(千円)	535	713

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例改正に伴い、学校教育関係者・社会教育関係者・家庭教育の活動に関わる者・学識経験者から12名の委員を委嘱した。 ・ 年3回の会議を開催し、県社会教育行政の在り方について、幅広く意見をいただき今後の教育行政の方向性を検討する上での参考となった。 ・ 社会教育関係団体への県からの補助金の交付について審議のうえ、適切な補助金交付となるように意見をいただいた。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年12月に県教育委員会へ提出された「ふるさと教育に関する提言」を受けて、ふるさと教育推進のための方向や方策を検討し、基本方針の見直しを行った。 ・ 平成26年度から、年2回開催が年3回開催となったことで、県社会教育行政の在り方についてより多くの意見をいただくことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域の連携による地域教育力の向上などに対処するため、住民の意思反映の手段として設置されている社会教育委員の会の存在意義が県民に十分認知されていない。 ・ 年3回の会議開催であるため、県社会教育行政の在り方や方向性について十分意見をいただいたとは言えない。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員としての活動が少ない。 ・ 県教育委員会として社会教育委員に求めることが明確となっていない。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員の自覚と問題意識を高め、社会教育委員活動を活性化するとともに、県社会教育行政に対して施策に反映できる意見をいただくことができる対応案を検討する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社会教育行政の在り方について、社会教育委員の会に対して、県教育委員会から諮問を行い答申を作成していただくなど、社会教育委員の自覚と問題意識を高め、社会教育委員活動を活性化する案を検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--